



大分県議会議員 2021年 春号  
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

# 原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、  
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と  
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

## 2021年大分県議会第1回定例会行われる

### ～7千億円を超える広瀬県政最大規模の当初予算案を可決～

2月25日(木)から3月26日(金)にかけて、2021年第1回定例会が行われました。2021年度の当初予算の総額は7,027億3,100万円で、当初予算が7千億円を超えるのは平松守彦前知事時代以来20年ぶりになります。

2020年度当初予算と比べて7.3%増の「積極型予算」で、前年度を上回るのは8年連続。防災・減災や人口減少など従来の課題に加え、新型コロナウイルス感染症防止対策と打撃を受けた経済の再活性化対策に取り組むことにより予算規模が膨らんでいます。

報道関係者の記者会見で広瀬勝貞知事は、「多くの政策に取り組まなければならない状況だ。新型コロナ対策や豪雨災害を乗り越え、安心・活力・発展の大分県づくりを進める。」と述べています。

### 県税の大幅な減収を補うために…

歳入は景気悪化に伴い、県税収入を前年度比10.7%減の1,143億円と見込み、地方交付税は前年度比4.1%増の1,790億円、国庫支出金は前年度比16.6%増の1,257億6千万円を充てています。

これは、政府がコロナ感染症対応を最優先と位置づけ財政再建を棚上げし、地方に対しても地方交付税を増やしたことによるものです。さらに、政府は自治体が借金をして国が実質的に返済する臨時財政対策債<sup>注1</sup>の発行可能額の増額を認めたことから、県はこの臨財債を67%増の332億円を発行。県債残高は1兆1,010億円に達しています。臨財債を除く実質残高は行財政改革推進計画の目標（6,500億円以下）を維持しているものの6,326億円になっています。

また、貯金にあたる財政調整用基金も65億円取り崩しています。財政調整用基金の2021年度末残高は305億円と予想され、残高目標とする330億円の確保は引き続き大きな課題です。

注1 国から地方自治体に交付する地方交付税の原資不足のため、不足分の一部を地方自治体が借り入れする地方債のこと。臨財債の元利償還金相当額は、その全額を後年度の普通交付税で措置されることになっています。

### 監査委員として

#### 行政監査結果報告書を 知事・県議会議長に提出

地方自治法に基づいて決算審査に関わる2019年度監査結果報告書を8月に提出したのに続き、2月22日(月)に行政監査結果報告書を広瀬知事と麻生県議会議長に提出しました。

行政監査は年度ごとにテーマを設定し実施します。今年度は高額機器等の管理・活用状況について調査しました。



### 折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。  
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。